

# 政策提言書

～第12回議会報告会 グループワークを踏まえて～

令和7年2月

奈良市議会 広報広聴委員会

## 目 次

1 はじめに	… 1
2 提言 政策テーマ「市民防災の充実」	
(1) 防災	… 2
(2) 地域コミュニティ	… 3



第12回議会報告会  
令和6年11月15日（金）午後6時～8時  
奈良市役所 西棟3階 大会議室・第2委員会室

## 1 はじめに

奈良市議会では、令和6年度、2回にわたり議会報告会を開催しました。令和6年5月10日の第11回議会報告会では、「あなたが市長だったら」と題し、参加者である学生の皆さんに、「自分が市長なら市政にどう取り組むか」という観点で、4つの政策テーマについて議論し検討いただきました。

そして、令和6年11月15日に開催した第12回議会報告会においては、前回の政策テーマに関連して「地域防災～助け合い・支え合い～」と「つながれワッショイ！地域コミュニティは必要？」という2つのテーマについて、一般公募により参加された方に、グループに分かれてご議論いただきました。

その議論の結果を踏まえ、広報広聴委員会で協議した結果、2つの政策提言としてまとめましたので、市長及び教育委員会に対して提言させていただきます。

市長及び教育委員会におかれましては、学生や市民の声を真摯に受け止めていただき、市政発展の一助にされるよう要望します。

奈良市議会広報広聴委員会

塚本 勝 岡田 浩徳

岡本 誠至 榎井 隆志

道端 孝治 柳田 昌孝

宮池 明 下村 千恵

山口 裕司 内藤 智司

伊藤 剛 (議席順)

## 2 提言 政策テーマ「市民防災の充実」

### (1) 防災

#### (課題認識)

共助については、それぞれの地域で自主防災・防犯組織を中心とした取組が行われているが、地域や個人によって防災意識に大きな差がある。また、自治会、自主防災・防犯組織などの組織に属していない人、中でも女性や要支援者などの意見を吸い上げる仕組みが不足している。

まずは自分の命を守ることが大切であり、自助について考えることは、ひいては共助にもつながる。市においては、南海トラフ巨大地震や奈良盆地東縁断層帯地震の発生に備えて、自分の命を守るための備えの強化について日常的に啓発や情報提供を行うとともに、未来を担う子供たちが防災を学び、考える機会を提供することが肝要である。

#### (政策提言)

- ① 多様な市民の声を把握するための市民アンケート調査の実施と各自主防災・防犯組織への調査結果のフィードバック

(例) 防災月間での市民だよりやホームページなどによるアンケート実施

- ② 各自主防災・防犯組織の地域特性を反映した備蓄強化支援
- ③ 各自主防災・防犯組織の意思決定過程に女性を登用する意識啓発
- ④ 児童生徒の発達段階や地域特性に沿った一貫性のある防災教育
- ⑤ 自助意識向上に向けた日常的な情報提供と啓発の実施

(例) 防災士講習の実施

## (2) 地域コミュニティ

### (課題認識)

地域住民間の関係づくりは幼少期から培われることが望ましい。ふだんから近所の人と挨拶するなど、お互いが分かり合える関係をつくるとともに、幼少期から地域活動に参加する風土の醸成を図っておくことが大切である。

一方で、遠方から越してきて市内の大学に通う学生は、自治会など地域の情報を入手することができず、地域から孤立している傾向が強い。片や自治会や自治連合会などの地域団体は、学生や若者を受け入れるという意識が希薄であるとともに、学生とつながる手立ても持っていない。地域から発信する広報の在り方を見直し、学生と地域との距離感を縮めて両者をつなぐ仕組みづくりが必要である。

### (政策提言)

① 幼少期からの地域とのつながり創出に寄与する学校教育

② 学生と地域をつなぐ“キッカケ”“シクミ”づくり

(例)・地域の歴史を伝達するフィールドワーク実施のための支援

・市から大学を通じての地域活動やイベントの情報提供

・市ホームページ内で紹介する地域情報の充実